

4 大阪市立小学校 スタートカリキュラム（例）

小学校へ入学した子どもたちは、小学校生活への期待と同時に不安を抱いています。「小学校、楽しみだな。でも、小学校ってどんなことするのかな。」「小学校でも、友達ができるかな。」保護者の方々も、不安な気持ちを抱かれることがあります。

就学前施設の生活と小学校生活は、全く違うものなのでしょうか。いったい何が違うのでしょうか。

小学校は、教室の中に自分の机があります。活動時間は時間割で区切られ、チャイムの合図で行動します。建物（校舎）は大きくなり、活動場所（校庭）も広がります。6年生のお兄さんやお姉さんがいて、集団の年齢差も大きくなります。入学したばかりの子どもにとって、このような環境の変化や人とのつながりの変化は、適応していかなければならないものです。

幼児期における遊びを通しての総合的な指導を通じて育まれてきたことを、各教科等における学習に円滑に接続されることを目指してつくられるのが、小学校の「スタートカリキュラム」です。幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続のためには、子どもの学びや育ちが連続していることや、小学校生活は就学前教育の延長線上にあることを理解することが大切です。

本項では、入学してからおよそ1週間程度の小学校の様子を紹介しています。同時に、円滑な接続によって、就学前教育の学びや育ちがどのように発揮されているかを示しています。就学前教育と小学校教育の接続について、就学前施設と小学校の指導者や保育者、保護者が互いに理解し合うことにより、子どもたちが安心して自己を発揮し、主体的に学びに向かうようになることを期待しています。

（１）「スタートカリキュラム」作成に向けて

小学校学習指導要領の改訂により、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続については重要性が一層高まっています。これらを受け、各小学校においては、入学した児童が、幼児期の教育における遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにするためのスタートカリキュラムの充実を図っています。

特に、小学校の入学当初においては、幼児期の遊びを通じた総合的な指導を通じて育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、スタートカリキュラムを児童や学校、地域の実情を踏まえて編成し、その中で、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行われています。

【長期的なスタートカリキュラム イメージ例】

時期	4 月	5 月	6 月	7 月
つながり				
活動と指導				
カリキュラムのねらい	入学直後は、子どもたちの心をほぐし、1対1の人間関係をつくることを意識してカリキュラムを編成します。安心して生活できる環境を設定します。	1対1の安心できる関係ができる5月頃から、小グループでの活動を増やし、つながりを広げます。自分のことは自分でできるよう促します。	子ども同士のつながりを強め、学級を意識させる活動を増やします。カリキュラムの中にも、教科としての学習が増えてきます。様々な学習の中で、子どもが自分らしさを発揮できるよう配慮し、また、主体的に取り組もうとする態度を伸ばすように指導を工夫します。	

(2) 入学当初の「スタートカリキュラム」

入学してきた子どもたちは、小学校生活への期待と同時に不安を抱いています。最初の1週間は、「心をほぐす」「学校に安心感をもつ」「先生や友達と1対1のつながりをつくる」時期です。明日も学校へ行こう！と思える活動をたくさん取り入れます。

このスタートカリキュラム（例）では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（10の姿）の意識化を図るため、例となる「10の姿」を1～2つ掲載しています。ただし、子どもたちの姿から読み取れる姿が、掲載した姿だけではないことに留意してください。

校時	学習活動	入学式
	学校行事 入学式	・小学校生活に期待をもつ ・教室の場所や担任の先生を知る ・友達がいることが分かる ・入学式に出席する 小学校の学習活動に関わる子どもの活動内容を表しています。

小学校での子どもの活動の様子を写真で示しています。

就学前教育での姿が小学校でどのような活動や姿と関係しているかを表しています。

1/3 とは、1校時（45 分間）の 1/3 を活用するという意味です。
1 年生の最初の頃は、1 校時にいくつかの活動を取り入れ、45 分間集中して活動する習慣がつくように配慮しています。

(例)

校時	学習活動	1 日目（始業式）
1	学校行事 始業式（1/3） 着任式（1/3） 対面式（1/3）	・小学校生活に期待をもつ ・元気に挨拶をする  道徳性・規範意識の芽生え
2	生活・音楽・国語 「がっこう だいすき」	・みんなで声を合わせて歌う ・歌を歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする ・隣の友達と手をつないだり、じゃんけんをしたりする（1対1のつながりをつくり、緊張をほぐす） 豊かな感性と表現
3	生活・学級活動 「わたしの ばしょ」	・靴箱やロッカーの場所が分かり、使い方をを知る ・登校した後の過ごし方が分かる ・教室の中に「自分の場所」を意識する  生活上のきまり等を理解し、行動する姿は、幼児期から育まれていました。就学前施設とは、高さや広さ、収納方法などが異なりますが、幼児期の経験を生かして、掲示物を見ながら自らやってみようとしています。
4	生活・学級活動 「がっこう だいすき ～また、あした～」	・机の中を整理し、帰る用意をする   自立心 社会生活との関わり ・みんなで簡単な手遊びをし、「明日も 学校へ来たい！」という気持ちをもつ



小学校では、入学説明会等で、保護者に小学校生活について丁寧に伝えることで、安心して入学を迎えられるようにしています。また、授業参観や、懇談会、学級便りなどで、児童が主体的、協働的に学ぶ姿や、分かるようになっていく過程の大切さなど、学習に取り組む様子について保護者に発信し、家庭との連携を図っています。

小学校では、始業式の翌日から給食が始まります。
以前は、入学直後は午前中の学習だけで帰宅する場合が多かったのですが、就学前施設でも午後の活動がありますので、最近では5時間目の学習をして帰宅する学校もあります。

就学前施設では、季節に合った歌や手遊び、就学に向けて期待を膨らませるような歌を歌っていました。それらを取り入れて、安心感や意欲がもてるように工夫し、友達と交流ができるような活動が取り入れられています。

校時	学習活動	2日目
朝の会	朝の会 「げんきに おはよう」	・元気に挨拶をする ・自分の健康状態を伝える ・元気に体を動かしながら、歌を歌い、心をほぐす 社会生活との関わり 道徳性・規範意識の芽生え
1	生活・国語・学級活動 「さんぽ しょう」	・教室の近くを散歩する ・「トイレ」や「保健室」「遊具」を見つける ・担任の先生以外の人と出会う ・遊具の使い方が分かる
2	生活・体育 「かけっこ ならびっこ」	・体操服に着替える（服をたたむ） ・運動場を力いっぱい走る ・友達と一緒に活動する ・自分の並ぶ位置が分かる 健康な心と体 協同性 就学前施設では、先生や友達と鬼ごっこやかけっこをして遊びました。小学校の広い運動場で、思い切り走ることを楽しんでいます。
3	図工・国語 「せんで あそぼう」	・色鉛筆やパスを使っていろいろな線を引く ・正しい鉛筆の持ち方を知る ・手首をうまく使って線を引く 豊かな感性と表現 就学前施設でもかいたりつくったりする活動を楽しんできました。小学校では、活動の工夫がされ、「もっとかきたい」と積極的に鉛筆を持って取り組んでいます。
4	生活・学級活動 「いい におい」	・「いいにおい」のもと（給食室）を探しに行き、給食室を知る ・手洗い場や石鹸の使い方を知る ・給食着に着替えて、ナフキンの準備をする ・6年生に付き添ってもらい、給食を運ぶ 協同性 社会生活との関わり 就学前施設でも、みんなでお弁当や給食を食べる準備をしていました。6年生に用意してもらいながら、給食当番の役割を知り、意欲をもって取り組む姿も見られます。
給食	「いただきます」	・配膳する ・食事の挨拶をして、おいしくいただく ・食器の後片付けをする
5	国語 「おはなし でておいで」	・先生の近くに集まって、絵本の読み聞かせを楽しむ ・「どんなお話だったか」「どこが面白かったか」など、話の内容を伝え合う 言葉による伝え合い 就学前施設でも絵本の読み聞かせを聞いたり、自分で読んだりしていました。感じたことを言葉で話したり、絵本を通して話題を共有したりしながら、一体感や安心感が高まっています。
下校	生活 「がっこうの かえりみち」	・元気に挨拶をして「明日も学校へ来たい！」という気持ちをもつ ・地域ごとに分かれて、先生と一緒に下校する ・安全な登下校の仕方を学ぶ 道徳性・規範意識の芽生え

安心して学校生活を楽しむことができるように、一定期間は、同じ学習内容を繰り返したり、少しずつ学習内容が高まっていくような工夫をしたりしています。また、思いや願いの実現に向けた主体的な学習活動をゆったりとした時間の中で進めていけるように、2時間続きなども工夫しています。

校時	学習活動	3 日目	
朝の会	朝の会 「げんきに おはよう」	・元気に挨拶をする ・自分の健康状態を伝える ・体を動かしながら歌を歌い、心と体をほぐす  健康な心と体 道徳性・規範意識の芽生え	
1	生活・国語・図工 「がっこう だいすき ～はるを みつけた～」	・散歩の範囲を校庭に広げ、見つけた「春」を絵や言葉で伝える  言葉による伝え合い	就学前施設でも季節を感じる体験をたくさんしてきました。広い校庭では、いろいろな発見があり、見つけたことを友達に伝えたくて、ワクワクしています。 
2	生活・国語 「がっこう だいすき ～がくしゅうえんに いこう～」	・学校の学習園に行き、春に咲く花や活動する虫を見つける 自然との関わり・生命尊重 就学前施設で、花を育てたり、虫を見つけたりすることは大好きでした。小学校では、校庭にいろいろな花や木があり、どこに虫がいるのか探したりするのが楽しみです。 	
3	国語・生活 「ひらがなを よもう・かこう」	・見つけた春を文字で読む ・机の端に貼ってある自分の名前を見ながら丁寧に書き写す 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 	
4	算数 「ともだち」 「すうじを かこう」	・算数の教科書を見て、具体物を数える ・ノートの使い方が分かる	
給食	給食の準備・片付け	・6年生に付き添ってもらい、給食を運ぶ ・配膳する ・食事をする  協同性	
掃除	掃除	・6年生に教えてもらいながら、自分たちで教室を掃除する  協同性 道徳性・規範意識の芽生え	ぞうきんの絞り方は、就学前施設で教えてもらいました。机や椅子も自分たちで運んでいましたが、小学校の机は大きさが違います。友達や上級生と一緒に運んだり、並べたりします。
昼休み		・みんなで運動場に出て遊ぶ	
5	音楽・学活 「がっこう だいすき」	・声を合わせて楽しく歌う ・明日の歌を決め、「明日も学校へ来たい！」という気持ちをもつ 豊かな感性と表現	就学前施設でも毎日友達と一緒に歌を歌いました。小学校で、新しい友達と知っている歌を歌うと、とても楽しい気持ちになります。 
下校		14:30 下校	

次第に座学が中心になりますが、入学直後は、心をほぐすために、思考と表現の一体化という低学年の特質を活かした生活科を中心に合科的・関連的な指導を行います。

校時	学習活動	4 日目
朝の会	朝の会 「げんきに おはよう」	・元気に挨拶をする ・自分の健康状態を言う ・昨日決めた歌を歌う 健康な心と体 道徳性・規範意識の芽生え
1	生活・国語・算数 「がっこう だいすき ～じぶんの なまえ ともだちの なまえ～」	・学級の友達の名前を何人知っているか、数える（人の数え方） ・名前を教え合う。 ・カードに自分の名前を丁寧に書く（ひらがなの練習） ・たくさんの友達ができたことを喜び合う 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 社会生活との関わり 
2		
3	体育・学級活動 「がっこう だいすき ～かけっこ ならびっこ～」	・友達と、ルールを守って遊ぶ ・並びっこを通して、体育の座り方や集合の仕方を学ぶ ・遊具を使って活動する 健康な心と体 道徳性・規範意識の芽生え 散歩や遠足でも間隔をあけて歩いたり、並んだりしてきました。小学校では、みんなで楽しく活動するために、遊ぶときの約束や並び方を教えてもらったり、考えたりします  
4	算数 「ともだち」	・教科書の絵を見て、具体物、半具体物を数字に対応させる ・数字を書く（1～5） 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 
給食	給食の準備・片付け	・6年生に付き添ってもらい、給食を運ぶ ・配膳する ・食事をする ・片付ける 自立心 協同性
掃除	掃除	・6年生に教えてもらいながら、自分たちで教室を掃除する 社会生活との関わり 
昼休み		・運動場の遊具で遊ぶ ジャングルジムや登り棒などの固定遊具に慣れ親しんでいます。小学校では固定遊具のサイズが違うので、遊び方や安全に注意が必要です。先生に教えてもらったり、お兄さん、お姉さんの様子を見たりして、遊具の使い方を知っていきます。 健康な心と体 道徳性・規範意識の芽生え  
5	学校行事 「しゅうだんげこう」	・地域別に集まる教室へ移動する ・班ごとに下校する
下校		14：30 下校

天候によって学校での過ごし方も変わります。廊下や階段の歩き方、学校図書館での過ごし方などを指導します。最初の1週間は地域別に分かれて、教師が引率して帰宅させたりしますが、見守る位置を少しずつ変えて、自立を促します。

校時	学習活動	5 日目	
朝の会	朝の会 「げんきに おはよう」	・元気に挨拶をする ・自分の健康状態を伝える ・決めた歌を歌う	 
1	生活・国語・学級活動 「がっこう だいすき ～あめの ひだって たのしいよ～」	・学校図書館に行く ・学校図書館の使い方が分かり、好きな本を借りる	 
2	国語 「あめ」	・「あ」と「め」の文字を読んだり、なぞり書きをしたりする ・「あ」のつくことば、「め」のつくことばを集める	
3	算数 「ともだち」	・教科書の絵を見て、具体物を数える（6～10）	
4	道徳・生活・学級活動 「がっこう だいすき ～はしって いいのかな～」	・雨の日の過ごし方を、資料を通して学習する ・滑りやすい廊下や階段の歩行の仕方を学習する	
給食	給食の準備・片付け	・自分たちで給食の準備や片付けをする	 
掃除	掃除	・自分たちで教室をきれいに掃除する	
昼休み		・教室で静かに過ごす	
5	音楽 「えをみて うたおう」 「リズム まねっこ」	・リズムに合わせて手をたたく ・足踏みをする ・明日の歌を決める	
下校		14：30 下校 	就学前施設でも毎日の生活の中で、いろいろなリズム遊びを楽しみました。学校でも友達や先生の動きを見たり、手拍子を聞いたりしながら、リズムに合わせる楽しさを味わっています。   

雨の日の安全な過ごし方については、就学前施設でも経験し、理解しています。小学校の広く大きい校舎内で安全に過ごすためのきまりやルールについて改めて知り、守って行動する姿につながっていきます。



小学校国語科での「話す」「聞く」力の育成、コミュニケーション能力に関わることは、就学前施設でも毎日の生活の中で、発達に応じて指導しています。話形にそって話すことは、小学生になってから学ぶことです。文字の指導も、基本的には小学校になってから指導します。しかし、就学までに絵本・お話や文字に興味や関心をもって親しんでいることが小学校での学習活動につながっていきます。

就学前施設で、発育測定や健康や保健指導を通して、自分の体の成長や健康に関心をもつように育ってきています。小学校では、4～5月は保健行事がたくさんあります。そのため、保健室での並び方、検査の受け方などを、養護教諭から教えてもらいます。発育測定では、健康に関する話も聞きます。



日直の仕事、当番活動も1年生はしっかりできますし、意欲をもってやろうとします。仕事を任せることで、小学生としての自覚が生まれます。

校時	学習活動	6 日目
朝の会	朝の会 「げんきに おはよう ～にっちょくのしごと～」	・元気に挨拶をして、昨日決めた歌を歌う ・「日直」の仕事が分かり、責任をもって行おうとする意欲をもつ（挨拶の言葉がけ等） 道徳性・規範意識の芽生え
1	生活・国語・学活 「がっこう だいすき ～がっこうのまわり～」	・学校の周りを散歩する ・見守り隊の方、学校の周りの自然など、出会った人や見つけたものについて発表する ・はっきりと、分かりやすく伝える 言葉による伝え合い 社会生活との関わり  就学前施設でも当番活動を通して、有用感や自信をもつ姿が見られました。 
2	算数・生活 「がっこう だいすき ～どちらがおおい?～」	・具体物（校内に咲いている花など）を数える ・具体物の量を比べ、「多い」「少ない」が分かる ・数字を表す量を知る 数量・図形、標識や文字などへの関心・感覚  思考力の芽生え
3	図工・国語 「がっこう だいすき ～ひらがな～」	・一筆で書ける文字「の」を学習する ・粘土を使って文字の形をつくる 数量・図形、標識や文字などへの関心・感覚  就学前に抱いていた文字や数字の学習、友達と一緒に学ぶことへの期待が学習意欲につながる瞬間です。
4	生活・体育 「がっこう だいすき ～ゆうぐであそぼう～」	・遊具の安全な使い方を知る ・ジャングルジムに登る 健康な心と体
給食	給食の準備・片付け	・自分たちで給食の準備や片付けをする 自立心 協同性
掃除	掃除	・自分たちで教室をきれいに掃除する
昼休み		・運動場で遊ぶ 健康な心と体
5	生活・図工・学級活動 「がっこう だいすき ～じぶんの かお～」	・パスを使って、自分の顔をかく ・楽しみながら絵をかく ・掲示された絵を見て、「クラスの友達」を意識し、クラスの一員としての自覚をもつ 協同性 就学前施設でもいろいろな画材で絵をかくことを楽しみました。みんなで一緒にかいたり、見合ったりして新しい友達のことに興味をもちます。 豊かな感性と表現 
下校		14:30 下校

ここに示した活動は、スタートカリキュラムの一例です。

入学から1か月ほど経つと、子どもたちも45分の学習に慣れ、1時間に1教科の指導が行われるようになります。この例のように、スタートカリキュラムは、小学校生活への滑らかな接続を目的にした入学直後の学習過程ですから、子どもの実態や保幼こ小の交流・連携の状況をベースに、時期や内容を調整することになります。

就学前施設では、みんなで活動することの楽しさ、新しいことへ挑戦する意欲などの情意面とともに、数の概念やコミュニケーション能力の基礎など様々なことを指導しています。これらの就学前教育における指導や、保幼こ小の交流・連携を通して、小学校の指導者が子どもへの理解を深めることで、就学前教育から小学校教育へ円滑な接続を図ることができます。

(3) 新しい1年生を迎える取組(例)

1年生が小学校生活を送る中で、多くの経験を重ね、指導者や友達と様々なことを学んできました。小学校生活に自信をもって過ごすことができるようになり、次に新しい1年生を迎える準備をしています。

(第1学年 生活科とのつながり 2月の学習指導案より)
ようこそ小学校へ 一あたらしい1年生のためにできることを考えようー

単元名	「もうすぐ2ねん生」	
単元目標	1年間の生活や自分でできるようになったことを振り返ったり、新しい1年生と関わりを深めたりするなかで、自分や友達の成長に気付くとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちと、2年生に向けての期待感や意欲をもつことができるようにする。	
本時の目標	○新しい1年生のために、自分たちができることを考えて話し合うことができる。	
	○学習活動	・教師のコーディネート
	あたらしい1年生のためにできることをはなしあおう。	
	○本時のめあてをつかむ。 ・「たのしい」「あんぜん」「なかよし」等のキーワードをもとにできることを考えて、自分のイチオシを見つけたね。 ・友達はどうなイチオシをみつけたのかな。 ・鉛筆の動かし方を教える 字がきれいに書けたら嬉しいと思う ・通学路を教えてあげる 安心して学校に来れると思う ・休み時間に鬼ごっこをする ○本日のめあてを達成するために、どんなことをしたらよいか考える。 ・自分の考えを分かりやすく、伝えよう。 ・理由も言った方が分かりやすい。	・本時まで学習を振り返ることができるようにする。 ・自分が選んだイチオシを書いた短冊を見せ合いながら、<u>新しい1年生のためにどんなこと</u> <u>ができるか</u>理由とともに話し合うことを伝える。 ・「たのしい」「あんしん」「なかよし」等のキーワードにそって<u>考えていく</u>ことを確認する。 ・本時のめあてを達成するために、<u>どんなところに気を付けたらよいか考える。</u> <u>自分のめあてとして、主体的に学習活動に取り組むことができるようになる。</u>

思考力

自立心

自立心

○それぞれの「わたしのイチオシ」をもとに、グループで話し合う。 ・ぼくのイチオシは、入学前に招待してゲームで遊んでもらうことです。そのわけは、入学するのが楽しみになるからです。 ・私のイチオシは、入学後の学校案内です。学校の中のことがよく分かって安心したからです。	・なぜそれをするとういと思うのか、自分の経験やお家の人、<u>新しい1年生にインタビューしたこと</u>をもとに自分なりの理由が言えるようにする。
○それぞれの「わたしのイチオシ」を黒板に貼り全体で交流する。 ・同じ意見や似ている意見はまとめよう。 ・自分の考え以外にも良い意見があるな。 ・「あそぶ」が入学までと入学後にもあるけどどう違うのかな。	・児童のイチオシの短冊を「入学式まで」「入学式」「入学後」の3つに分けてYチャートに整理し、<u>同じ意見や似た意見、また、自分とは違う意見があることに気付くこと</u>ができるようにする。
・プレゼントは、アサガオの種と招待するときのメダルもあるから真ん中に貼っておこう。 ・教室は飾りじゃなく、楽しかったことなど絵にかいて貼るとよく分かるんじゃないかな。 ・学校探検の時、何の部屋かわからなくて困ったから、ひらがなで部屋の名前を書いて貼った方がいいと思う。 ・教室の準備とか学校案内の準備は、早くしておいた方がいいね。 ・招待する計画を一番先に立てないといけないね。	・短冊を整理し、「学校案内」「遠足」「おもちゃ大会」など、<u>行事ごとにまとめるようにする</u>。 ・「たのしい」「あんしん」「なかよし」等のキーワードをもとに、自分なりの理由を伝えることができるようにする。
○本時の振り返りをする。	・いつ<u>どのような順序で準備していくとよいかについて話し合うこと</u>ができるようにする。
	◆新しい1年生のためにできることを理由とともに話合うことができる。

社会生活との関わり

思考力の芽生え

言葉による伝え合い

思考力の芽生え

言葉による伝え合い

思考力の芽生え



・・・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が小学校では、どのようなところで、どのような姿でつながっているかを、就学前教育から見た主な【10の姿】を掲載しました。

家庭との連携

一人ひとりの子どもが安心して育つためには、子どもに関わる全ての大人が子どもの成長を見つめ、日々の生活を振り返り、生活習慣や大人の関わり等、確認し合う必要があります。子どもがもっている可能性を十分開花させることができるよう、私たち大人がよき援助者となることが大切です。就学前教育に携わる保育者・指導者から保護者の方々へ、日々の生活や子どもへの関わりを考えるきっかけを情報発信している参考例を紹介します。



相手をしてもらうの大好き

目が合うとニコリ笑顔の赤ちゃん。そんな瞬間が積み重なって「かわいい」という気持ちも生まれてくるのでしょうか。赤ちゃんも大人に相手をしてもらうのは大好きです。赤ちゃん向けの特別な言葉かけなんて、ありません。ふだんの暮らしのなかで自然におしゃべりしていれば、それで十分。

「がんばったね」「えらかったね」

ほんわか じんわり いい気持ち

「認めてもらえた！」というよろこびは、自信ややる気となってもどってきます。3歳くらいまでは「できた！」というよろこびをたくさんわかちあいましょう。少し大きくなったら「できた」という“結果”だけでなく取りくんでできたこと、つづけてきたことを「よくやったね」と認めましょう。



社会のルールはどう教える？

子どもが守れそうな“約束”の範囲を少しずつ広げていくのがコツ。それは同時に“責任”を教えていくことにもなります。“約束ごと”のいちばんは いのちを大事にすること。



「だめ」

「早くしない」「どうしてできないの」

避けたいのは「できないこと」をしかること、責めること。子どもには、年齢からいってまだできないことがたくさんあります。苦手なこともたくさんあります。



じょうずに眠れるまで待ってね

はじめからじょうずには寝つけません。信頼できる大人が「そばにいる」とわかれば赤ちゃんも安心。背中とんとん、眠りのお手伝いをしましょう。

【参考文献】母子保健事業団

「それでいいよ だいじょうぶ」

— 子どもとの暮らしを応援する本